

<学校名> 伊奈町立南小学校

<所在地> 北足立郡伊奈町栄4丁目1

<電話> 048-722-5231

<本事例の特徴>

本校は、年に一度オーストラリアの小学校とオンラインで、互いの学校の特色や文化についてスライドを用いて紹介したり、ゲームを体験したりして学んでいる。このような外国語の時間を活用した国際理解教育の取組を紹介する。

<具体的な取組や成果>

○外国語「オーストラリアの小学校との交流授業」

- ・オンラインで、お互いの小学校の特色や行事などについて、スライドを用いて紹介した。また、お互いの文化について気になったことを質問し、文化への理解を深めていた。最後には、お互いの言語を用いたゲームを体験し、楽しそうに取り組む姿が見られた。



○児童の感想より（一部）

オーストラリアの小学校との交流はとても楽しかったです。通じない言葉があったけれど、拍手したり、ジェスチャーをしたりして自分の学校のことを紹介することができました。文化が違って、「伝えたい！知りたいたい！」という気持ちがあれば、心は通い合うんだなということを実感することができました。

ぼくは、今回の交流を通して、「国によって学校の様子や生活がちがう」ということに気付くことができました。日本の学校の教室と、オーストラリアの教室の様子を比べてみると、学習環境が違うということが分かりました。今後、ここで学んだことを生かし、自分でもさらにオーストラリアについて調べていきたいです。

○スライドでの発表では、実際の活動の様子が分かる写真を用いたことで、児童はオーストラリアの文化についてより理解を深めることができていた。また、テレビ通話を用いての発表であったため、お互いの教室を見たり声を聞いたりすることができ、オーストラリアを、より身近に感じながら学びを深めることができた。

○事前に、発表の練習を重ねたことで、より外国語に慣れ親しむ場面が多く生まれた。また、オーストラリアとの交流後には、自主学習を通じて異文化について、自ら調べ学習をしていた児童もおり、今回の活動が有効だったことがうかがえる。